

平成29年6月15日

洞爺湖町議会平成29年6月会議
教 育 長 行 政 報 告

番 号 件 名

- 1 寄附について
- 2 学校環境整備について
- 3 公立高等学校配置計画案について
- 4 各種事務事業の取組状況について

1 寄附について

このたび、次の方より寄附の申出があり、ご厚志に添うようありがたく受納いたしました。

食材の寄附（洞爺湖町学校給食センターへ）

有珠郡壮瞥町字仲洞爺 1 2 3 番地

洞爺湖漁業協同組合

ワカサギ 4 8 kg

2 学校環境整備について

このたび、次の事業所から学校環境整備の申し出があり、実施していただきました。

伊達市元町 7 1 番地 2 1

北紘建設株式会社 代表取締役 笹山智市氏

学校環境整備の箇所及び内容

整備箇所 虻田小学校体育館裏手の空きスペース 約 4 0 0 m²

整備内容 砂利を敷き詰め駐車場として整備及び排水工事一式

3 公立高等学校配置計画案について

6月6日、北海道教育委員会は平成30年度から平成32年度に係る公立高等学校配置計画案と、平成33年度から平成36年度までの見通しを公表しました。

胆振西学区に関しては、昨年度決定の室蘭工業高等学校の平成31年度1学級減について、検討されていた学科が情報技術科となりました。また、平成32年度に室蘭東翔高等学校で1学級減とする案が示されました。

見通しに伴う学区の検討事項としては、平成33年度以降、平成36年度までに中卒者が148人減少することが見込まれることから、「4年間で2～3学級相当の調整が必要」、「欠員の状況や学校・学科の配置状況を考慮し、室蘭市内や登別市内において定員調整の検討が必要」また、「伊達市内において、欠員の状況や望ましい学校規模を下回る学校があることを考慮し、再編を含めた早急な定員調整の検討が必要」となっています。

北海道教育委員会では7月に第2回目の検討協議会を学区ごとに開催し、その協議内容なども参考に、9月には計画決定の予定としています。

なお、虻田高等学校が含まれる地域キャンパス校の再編整備に関しては、「地域キャンパス校の再編基準の緩和に向けた新たな人数要件を検討していることから、この検討期間中における地域キャンパス校の新たな再編整備については行わない」とされていますが、本年9月頃に人数要件を含めた再編整備の素案が示され、本年度末を目途に新しい指針ができる見込みとなっています。

4 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告します。

(1) 洞爺湖町少年の主張大会の開催について

6月6日、虻田ふれ合いセンターにおいて、洞爺湖町青少年健全育成連絡協議会主催の「洞爺湖町少年の主張大会」が開催されました。

町内中学校から選抜された6名の中学生は、それぞれが定めたテーマで、堂々と自分の意見を発表していました。会場には、社会教育事業の「いきいき学園」の皆さんを含む約40名の方々が足を運び、それぞれの主張に聞き入っていました。

最優秀賞に輝いたのは洞爺中学校3年生の石井 陽くんで、「ふるさとを誇りに思うために」と題し、地域で収穫されたじゃがいものPRを通し、人を笑顔にできる作物がある自分の町を誇りに思い、ふるさとを思う気持ちを大切にしていきたいという内容で発表したものでした。

なお、石井くんは7月10日に開催の「少年の主張胆振地区大会」に、洞爺湖町の代表として出場いたします。